

式辞

厳しい冬の寒さも少しずつ和らぎ、吹き渡る風にも早春の気配が感じられる今日の佳き日、中の海会会長、白根 一（ひとし）様、PTA 会長、大江 将幸様、並びに保護者の皆様のご臨席のもと、島根県立安来高等学校、第 118 回卒業証書授与式を挙行できますことに、卒業生はもとより、本校教職員・生徒一同、誠に光栄で有り、心から感謝申し上げます。

ただいま卒業証書を授与した 131 名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、今日まで限りなく深い愛情でお子様を見守られ、支えてこられました保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。また、これまで本校の様々な教育活動に際してご理解とご協力を賜り、お蔭をもちましてこの日を迎えられることができましたこと、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、安来高校は今年 120 周年の節目の年を迎える、県内でも 6 番目の歴史と伝統を持つ高校です。卒業生の皆さんはその 120 年の歴史の中に新たな一ページを刻まれたと思います。皆さんが在学した 3 年間は入試制度改革に振り回され、またこの 1 年はコロナ禍で今まで当たり前であったことが当たり前でなくなり前年踏襲ができない中、様々な制約や不安の中で、最上級生として学校の様々な行事を工夫と協力で引っ張ってきてくれました。2 学期の始業式で「疾風に勁草を知る（しっぽうにけいそうをしる）」という言葉を紹介しました。激しい風（疾風）が吹いて初めて強い草（勁草）が見分けられるように、厳しい試練にあって初めてその人の意志の強さや節操の堅固さ、人間としての値打ちがわかることのたとえです。まさに皆さんは様々な逆風が吹く中、前を向いて根を深く広く張り力強く立ち向かってくれました。その中で培われた、発想力や皆と協力してことを成し遂げようとする協調性など大きな成長を遂げたのではないのでしょうか。

昨年度の卒業式は在校生のいない式典とならざるを得ませんでした。今年はこの難局に果敢にチャレンジし、強く大きく成長した先輩の姿を目に焼き付けると共に、共に協力してこの難局を乗り越えた仲間として 2 年生は式場で、1 年生は教室でリモートではありますが卒業生の門出を共に祝い、その姿を目に焼き付けて欲しいと思っています。

私たちは今、世界が当たり前とか常識とかと思っていたものが瓦解し、暮らし方や働き方、社会のあり方そのものが劇的に変化する時代に直面しています。併せて人々の生き方や価値観についても、これまでの常識や感覚が通用しない時

代になってきています。これからの社会では皆さんが自分自身の考えで判断し、自分たちの未来を皆さんで作りに出していかなければなりません。その一端をこの一年間のあらゆる行動の中で皆さんは発揮してくれたと思っています。自分はどうか生きるべきか・行動すべきか、幸せとは何かなど人間の根源的な問題にも向き合わなければなりません。正解はありませんが自分なりの回答を模索するときに持っておいで欲しい視点が2つあります。

1つは「利他」という視点です。他人を利すると書きます。自分の利益ではなく他人のために行動するという事です。人に気に入られよう、好かれようではなく、どうしたら人や社会に役立てるのかと考えてみてください。自分が誰かの役に立っている、誰かから必要とされているという実感はどううれしいことはありません。またそのような人の周りには自然と多くの人が集まってきます。卒業アルバムの全体写真のページに「愛される人間になれ」と書きましたが、まさにそれを実践することになると思います。

2つめは、本校の教育目標です。様々な選択肢がある中で、自分の人生を美しく豊かに生きるために、どのような判断をすれば最適か。この美しく生きるは、先ほど話した「利他」にもつながると思います。きびしく自らを律し、高い目標や信念を持った判断をしてください。自分の人生に責任を負えるのは自分しかいません。ぜひ、何か決断を必要とする際には一度立ち止まって、この教育目標「きびしく 高く 美しく」を思い出し、悔いのない決断をし、豊かな人生を送って欲しいと思います。

この1年は始業式・終業式など校歌を歌う機会が奪われました。今日の式典の中でも歌うことはできませんが放送で流れます。最後にもう一度しっかりとかみしめて聞いてみてください。校歌は同じ学び舎で学んだものが年代を超えて一つになれるものです。波静かなる中の海、雪清らなる大山の、社日櫻の咲くところ、皆さんが育ったこの美しい故郷安来の姿と、新しき世に生きてゆくこの喜び、若き心を鍛えずや、光ささぐる人足らむ、と高校時代に皆さんが追い求めてきた姿が謳われています。卒業後安来を離れる人も残る人も、この学校で過ごした3年間の思い出と、故郷安来への誇りと愛着の詰まったこの歌を忘れないで欲しいと思います。近い将来大きな声で歌える日が来ることを期待し、そのときには皆が集って高らかに歌って欲しいと思います。

最後に巣立っていく皆さんへの激励の言葉として「成功哲学」を提唱しているナポレオン・ヒルの「信念の力」と題する詩を送ります。

もしあなたが負けると考えるなら、あなたは負ける

もしあなたがもうダメだと考えるなら、あなたはダメになる

もしあなたが勝ちたいと思う心の片隅でムリだと考えるなら、あなたは絶対に勝てない

もしあなたが失敗すると考えるなら、あなたは失敗する
世の中を見てみる、最後まで成功を願いつづけた人だけが成功してるのではないか
すべては「人の心」が決めるのだ

もしあなたが勝てる则认为るなら、あなたは勝つ

「向上したい」「自信をもちたい」と、もしあなたがそう願うなら、あなたはそれとおりの人になる

さあ、再出発だ

強い人が勝つとは限らない

すばしこい人が勝つとも限らない

「私はできる」そう考えている人が結局は勝つのだ！

きびしく 高く 美しく 新しき代に光ささぐる人たらん 卒業生のこれからの人生に幸多かれと祈念して式辞といたします。

令和3年3月1日 島根県立安来高等学校長 柳樂 眞悟